

〔国際会議開催〕

申 請 者	豊橋科学技術大学 電気・電子情報工学系 教授 澤田 和明	2225007
国際会議名称	第 22 回固体センサ・アクチュエータ・マイクロシステム国際会議	
開 催 期 間	2023 年 6 月 25 日～6 月 29 日（5 日間）	
開 催 場 所	国立京都国際会館（京都府京都市）	
申請者の役割	組織委員会副委員長	

概 要：

本会議はセンサおよびセンサとプロセッサ・アクチュエータを一体化したマイクロシステムをテーマとした国際会議である。日本では過去 3 回開催されているが、今回の京都会議は 1999 年の仙台会議以来、24 年ぶりの開催であった。コロナ禍の余波やウクライナ戦争の影響による渡航費高騰の中海外からの参加者の減少が懸念されたが、久々の対面開催かつ京都の魅力のためか 28 カ国より 1037 名（うち 7 割が海外）の参加者を得て盛況に開催できた。

電子機器の外部とのインターフェースであるセンサやアクチュエータは電子システムの高度化にともない必要不可欠の技術となった。物理、化学、生物情報などを電気信号に変換するセンサとプロセッサ、アクチュエータと一体化したマイクロシステムは、小型電子機器、IoT、自動車、医療機器など、社会や産業に大きな恩恵をもたらしている。本会議は当分野における世界最大規模の国際会議であり、電気・電子、機械工学を始め化学・バイオ分野の研究者が一堂に会し最先端の研究成果、意見交換を行う場となっている。

483 件の論文が 4 日間にわたり口頭発表、ポスターとして発表されたほか、4 名の著名研究者を招待しタイムリーなテーマでの基調講演が行われ、また第一線の研究者 10 名による招待講演が行われた。広範囲の専門分野を持つ研究者が世界各国から集まり、相互の理解と情報交換を活発に行う国際会議となった。日本における本分野の一層の進歩を図り、世界各国と協力しながら科学技術の進歩を推進することを目的に開催されたが、十分にその成果が得られたと考えている。